

松隈副局長が来所しました



6月16日(水)に、松隈副局長より着任のごあいさつをいただきました。

「今年の4月1日付けで本所の港湾局の環境技術課長から、副局長で参りました松隈です。

私はずっと河川の仕事(特にダム)をやってきましたので、三春ダムにも昭和60年頃一度来たことがあり、非常に懐かしく思っております。せっかくの機会ですので、皆様方に三点ほどお話をさせて頂きたいと思っております。

一点目は、我々は国家公務員ですので、国民のための仕事をしているんだ、という事をしっかり意識において仕事をして頂きたいと思っております。そして、地元の方の意見をしっかり聞いて個性ある地域づくりをして頂きたいと思っております。

二点目は、出来るだけ事故や失敗の少ない組織づくりをやって頂きたいと思っております。事故や失敗は分析しますと、必ず原因が出てきます。しかし、同じ原因があれば必ず事故や失敗につながるかというとは実はそうではないようで、ある人に言わせると「原因と結果の間に、からくりがある」ということもありますので、ぜひそういう同じ原因があっても、事故になりにくい組織を作り上げて頂きたいと思っております。

三点目は、皆さんが座っているイスを大事にして下さいということです。沖縄開発庁にいた頃、私よりも5~6年後輩の係長さんに怒鳴られた経験がございます。その時は、ジッと頭を下げて我慢していたのですが、自分の役所に戻ってイスに座りますと、ムカムカ腹が立ってきました。その時ある人にいわれた言葉が、「それは違うぞ。君が怒られた訳じゃなくて、君のイスが怒られたんだ」と言われました。それ以後、

今日まで色々なお叱りを受けてきましたけれどその都度自分のイスに向かって「今日はちょっとつらかったな・・・」と言うと、何となく胸がスーッとするような気がするわけでありまして。自分のイスというのは、人が頭を下げてくれるほど偉いものでもあり、自分と一緒に叱られてくれる頼もしい味方でもあります。どうか自分のイスを大事にしながら、一生懸命頑張りたいと思っております。」

地域の意見を返す会を開催

「地域の意見を返す会」を6月6日(日曜日)、三春町自然観察ステーションで開催しました。当日は滝根町、大越町、常葉町、船引町、三春町、郡山市、白沢村の7市町村より参加いただき、開催することが出来ました。

この会は、さくら湖水源地域ビジョンの策定に向けて、上記の7市町村で行われた「地域の意見を聞く会」で頂いた意見を、地域の皆さんに返す場として開催しました。会の中では、各地域の方の意見や取組みを皆さんに返すとともに、ダム上流下流に住んでいる人の意見交流が図られました。



この会を通して、参加者の方の地域に対する思いや、水質に対する意識の高さを再認識いたしました。また、今回のようにダム上下流の人が意見を交換する場が、これまでは無かったということで、多くの方よりとても意味のある会だというご意見を頂きました。今後もさくら湖水源地域ビジョンの策定に向け、上下流交流活動などを実施していく予定ですので、皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

“新技術 未来を創る大きな遺産” EE東北を見学して

電気通信係 西村 彰仁

去る5月26日(水)～27日(木)の2日間、宮城県の東北技術事務所においてEE東北'04が開催されました。

EE東北は、土木・機械・電気等の各分野において新技術の発表や、展示を行うイベントで、毎年行われています。

今年は「新技術 未来を創る大きな遺産」というテーマで156の団体が参加し、347の技術が展示されました。

開会式の
ようす



現場を見学してみると、自分では考えもつかない技術の数々に、ただ驚き感心するとともに、自分の知識不足を実感しました。安全な施工技術や、環境に優しい材料など、素晴らしい技術が数多くあり、これらの内容を理解し、これからの工事に取り入れる事で、環境にも優しい工事をしていかなければならないと思いました。

自然教室2004開催のおしらせ

今年も森と湖に親しむ旬間イベント「さくら湖自然教室2004」が7月25日(日)に開催されます。



さくら湖自然教室は、森と湖に親しむ旬間(7月21日～7月31日)の一環として、森と湖実行委員会(三春ダム管理所、三春町、郡山市、船引町)が行っているイベントで、さくら湖周辺の自然を体験し、水辺に親しみ、川と水質保全の大切さについて関心を高め、理解を深めてもらう事を目的としています。

今年も郡山市・三春町・船引町の小学生親子160名を対象に参加者を募り、昆虫観察や野鳥観察などの楽しい教室とダム見学を行う予定です。

詳しいお問い合わせは、
さくら湖自然観察ステーション
(0247-61-1546)までご連絡
ください。



さくら湖マラソン大会が 開催されました



6月13日(日)県内外から851名のランナー(74歳から小学一年生)の参加で、さくら湖マラソン大会が開催されました。

当日は、雨上がりと言うこともあり、爽やかな初夏の風を浴びての競技となりました。

競技は中郷小学校をスタート・ゴールとして、14.2kmのさくら湖一周コース、5kmコース、3kmコース、2kmコースに分かれ、三春ダム周辺の景観を楽しみながら健脚を競われ、ダム湖内には大きな歓声が響き渡りました。

「土砂供給試験」について 大類所長がプレゼンテーション

さる6月25日(金)に、土木学会・土砂輸送ワーキンググループの方々を前に、東北で唯一「土砂供給試験」を実際のフィールドで行っている三春ダムの事例についてのプレゼンテーションを行いました。

出席者の、京都大学・九州工業大学・土木研究所他、企業の方々総勢22名を前に大類所長が説明を行いました。

会場のようす



参加者からは矢継ぎ早に質問が浴びせられ、土砂供給の新たな方向性も見え隠れするような質疑が続きました。

本日のプレゼンのメインである、5月21日からの出水時に下流に盛土していた土砂の流出状況(動画)では、盛土が放流(25m³/s)により侵食され、下流に流されていく様子がよく分かりました。(このような動画資料は大変珍しいものだそうです。)

下流土砂の
流出状況



今後もダム下流の河床低下を抑え、より効果的に行っていく方法を考慮していく事を伝え、今回の報告は終了いたしました。

シリーズ 「私のふるさと紹介」

長野県と聞いて何を思い浮かべますか？善光寺・野沢菜・オリンピック・白馬・志賀高原・軽井沢・田中康夫…。せっかくなのでこれ以外のものを紹介しましょう。

牟礼村は長野市の北隣にあり、善光寺平(長野市)を中心とした北信地方と呼ばれています。

北信地方はりんごをはじめ、桃・栗・ぶどう・アンズ等いろんな果物がとれます。食べて美味しいのはもちろん、花咲く季節もオススメ。

牟礼には残雪の北信五岳を背景にピンク色した桃の花が咲き誇る丹霞郷(たんかきょう)と呼ばれる場所があります。昭和初期この地を訪れた画家が「丹い(あかい)霞たなびく郷」と呼んだことにちなむそうです。

桃の花が咲き
誇る丹霞郷



【長野県牟礼村】の巻 電気通信係 若林 文孝

また、隣の三水や豊野には道路の両側を白いりんごの花が咲き乱れ、飯山では童謡にも歌われた河畔に咲く菜の花畑も綺麗です。

北信地方の郷土料理として脚光を浴びているのが“おやき”。野菜や山菜を味噌や醤油で味付けして、小麦粉の皮で包んで焼いたもの。元々はそば同様に、米の取れない地域の主食だったようです。

北信地方の
郷土料理「おやき」



基本的にはしょっぱい具ですが、あんこを入れた少し甘いものもあります。個人的定番は野沢菜とナスですね。

他にも紹介したいことは色々ありますが、今回はここまで。大宮で新幹線乗り換えて約1時間、遠いようで結構近い信州へ行って体感してみてください。



Q1. なぜダムを造ったのですか? (つづき)

三春ダムを造った1つめの理由「洪水を防ぐため」については前号でお話しをしましたが、三春ダムには他にも役割があります。1つは「田畑のかんがい用水に使用される」ことがあげられます。

三春ダム周辺地域は、年間降雨量が1,100mm程度（日本の平均降雨量は1,700mm）しかなく、ダムが出来るまでは田畑の水を確保するのも大変苦勞をしてきたそうです。

もう一つは「生活用水や工業用水などの都市用水に使用される」ことがあげられます。



三春南部かんがい
取水塔(左)

郡山東部かんがい
取水塔(右)



三春ダムでは水道水として1日に最大107,300m³を、工業用水としては1日に最大2,100m³を供給し、人々の生活や産業を支えています。このように、色々な目的のために三春ダムは造られました。

ダム資料館からのお知らせ

7月6日(火)から8月2日(月)まで、三春町の宗像さんら糸瓜会による川柳作品展を開催しています。



自然観察行楽からのお知らせ

- 8月 8日(日) 桜川の水質調査
“三春町を流れる桜川の水質をパックテストなどを使って調査します”
- 8月13日(金)、21日(土)、27日(金)
星を見る会 “13日と21日は夏の星雲・星団の観察。27日は月の観察を行います”
- 8月22日(日) 高山植物観察会(定員35名)
“デコ平湿原やブナの自然林など、夏の裏磐梯の自然をウォーキングしながら観察します”

編集後記

三春ダムに採用されて早3年、また編集委員としてお世話になることになりました。今回はダム管理業務を始め、やることなすこと全てが初めてだったのに加え、ニュース記事のまとめ方が良く分かりませんでした。そのため、分かりづらい点が多々あったと思います。今年は編集委員2回目ということで気持ちに少し余裕が出来ましたので、前回よりは分かり易い文章をお届け出来ると思います。また、併せて読んで面白い内容もお伝え出来る様に頑張っていきたいと思っています。

1年間どうぞ宜しくお願い致します。(西村)

編集・発行 国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字
中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145

FAX 0247-62-3170

ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>